

邦楽のススメ

touch the Japanese culture

第三弾

新内編

shinnai

鑑賞する機会が少なくなった日本の伝統芸能に触れて、日本文化の素晴らしさを実感していただく講座つきの演奏会の第3弾！高校生以下の次世代を担う子供たちは参加料を無料とします。歴史のある日本の伝統芸能をみて聞いて・体験して日本の文化を再発見しよう！



新内仲三郎(人間国宝)



新内剛士



平成28年 **2月11日** (木・祝)

開場: 13時30分 開演: 14時00分

iichiko 総合文化センター
iichiko 音の泉ホール 舞台上

料金

高校生以下(未就学児入場可・チケット要)……無料
保護者(1名につき)……………500円
一般……………1,000円

出演者

弾き語り……新内 ^{なかざぶろう} 仲三郎(人間国宝)
浄瑠璃……新内 ^{たけし} 剛士
上調子……新内 ^{かつしず} 勝志壽

構成

- ①演奏……最初に演奏・技等をご覧いただきます。
- ②お話……演奏・芸・楽器のお話や解説を聞いていただきます。
- ③体験……実際に体験していただきます。
- ④演奏……最後に演奏・技等をもう一度ご覧いただき、その芸の奥深さを感じていただきます。

演目

- ①新内流し(蘭蝶)
- ②朝比奈地獄めぐり

チケット申込方法

購入

- iichiko総合文化センター 1階 インフォメーション(☎097-533-4006)にてチケット購入できます。
- iichiko総合文化センター ホームページから購入できます。 [iichiko 総合文化センター](#) [検索](#)

受付開始日

1月9日(土)
10時00分

申込

メール(hashimoto@emo.or.jp)または
FAX(097-533-4013)で申込。
記入内容・代表者氏名・参加人数(うち高校生以下の人数)
・連絡先(住所・電話番号)

※当日までに、iichiko総合文化センター 1階インフォメーションにて
料金をお支払いください。

主催・お問合せ: iichiko総合文化センター [(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]
☎097-533-4004

新内とは?

「新内節」とは、江戸浄瑠璃の一つ。富士松薩摩様(さつまのじょう)が延享二年(1745)、富士松家を創始したのが始まりとされています。心中物を得意とし、「泣き語り」と呼ばれる哀切な節回しが庶民の人気を集めました。三味線を弾きながら市中を歩き、客に招かれて語る「流し」が有名。歌舞伎や時代劇にも登場します。

もっとわかりやすく!!

新内とは、ボーカルと三味線2人で構成されたグループ。ボーカルは、唄も台詞も一人芝居のようにやりますが、踊ったりはせずに座ったままで声色を使い、一人何役もこなすのです。台詞もたくさんあり、登場人物により雰囲気を変えて語ります。三味線は、一人はベース音、もう一人は高い音で旋律音を奏でます。新内のリズムは、そのほとんどが「間」や「呼吸」。3人の息のあった様子は、演じるほうも聴くほうも、えも言われぬ快感になります。



なかざわ 新内 仲三郎 (人間国宝)

東京生れ。六歳より長唄、小唄、端唄、日本舞踊を学ぶ。昭和三十年叔父の新内仲造に入門。同三十二年新内仲三郎を名乗り師範。同五十九年富士元派六代目家元を襲名。平成五年芸術選奨文部大臣賞受賞。同十三年重要無形文化財新内節三味線保持者に認定される。その間、文化庁芸術祭優秀賞、名古屋演劇ペンクラブ特別賞、第十三回松尾芸能邦楽優秀賞、伝統文化ボーラ賞、紫綬褒章、旭日小綬賞叙勲など受賞多数。十三年日・中・韓三都市による「BeSeTo」演劇祭に日本代表として「風に立つ仲三郎」を公演。創作作品に「檜山節考」「雪女」「羅生門」「千手の前」など多数。現在新内協会副理事長。



たけし 新内 剛士

六歳より父の新内仲三郎(人間国宝)に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業し、同大学院博士課程を修了。論文「琴(箏)を通した上調子の発生と発達」で東京藝術大学大学院音楽研究科三味線音楽専攻音楽学位を取得。歌舞伎公演や国立劇場、三越劇場、紀尾井ホール主催公演等に出演。江戸深川資料館では月一回新内流しの再現を行う。平成十六年東京藝術大学常英賞受賞。平成二十一年財団法人清栄会奨励賞受賞。平成二十五年三月第三十四回松尾芸能新人賞。平成二十六年第六十八回文化庁芸術祭新人賞。同年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。作曲に「寿猫」「今昔想曲恋嫁入」「霧変源氏物語～夕顔、玉鬘、葵～」「乙姫」「土御門大路」等多数。

「邦楽のススメ」参加者の感想 ※昨年度

本物をこの距離で見ること、体験することができて、とても感動しました。

日常とは離れた空気を味わえました。良い時間をありがとうございました。

本物を聴くチャンスを与えていただき、ありがとうございました。

大分県立美術館(OPAM)情報

お問合せ/☎097-533-4500

2015年10月31日(土)~2016年1月24日(日)

開館記念展 vol.2 「神々の黄昏」—東西のヴィーナス出会う世紀末、心の風景、西東

公演情報

ワンコインリレー
コンサート~木管五重奏~
出演/Wind Quintet SONORITÉ

1/18(月)
19:00開演(18:30開場)
所 iichiko音の泉ホール
料 500円(未就学児入場可)

青島広志の
おしゃべりオペラティックコンサート
出演/青島広志(ピアノ・お話) ほか

大分公演 2/29(月) 19:00開演(18:30開場)
所 iichiko音の泉ホール(全席指定)
白杵公演 3/1(火) 14:00開演(13:30開場)
所 白杵市民会館 大ホール(全席自由)
料 大分・白杵 両公演とも1,000円

ワーグナー作曲
歌劇『さまよえるオランダ人』
出演/ロバート・ボーク ほか 管弦楽/九州交響楽団

3/26(土) 14:00開演(13:15開場)
所 iichikoグランシアタ
料 GS席13,000円、S席11,000円、A席9,000円、
B席7,000円、C席(予約)0円
※U25割引半額(A~B席のみ、25歳以下対象)

お問合せ/iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] ☎097-533-4004